

平成 29 年 7 月 19 日  
杉並区立杉並第十小学校  
校長 山口 京子

# 7月8日の土曜授業

7月の土曜授業は、1校時に通常授業を行った後、2、3校時は震災救援所震災訓練に参加しました。学年毎にいろいろな体験型の訓練を行い、6年生が用意した防災食の試食を行いました。

震災救援所運営連絡会、防災課、消防署、消防団の方々、各体験をサポートしてくださった町会や自治協力会の皆様、子どもたちと一緒に体験をしてくださった保護者の皆様、ご協力本当にありがとうございました。



## 1年生 煙体験、バケツリレー

煙体験では、煙が立ち込めるテントの中を歩きました。煙で周りの視界が遮られてしまい、思うように前に進めません。姿勢を低くして、ハンカチで口を押さえ、煙を吸い込まないように自分の身を守りました。



## 2年生 バケツリレー、煙体験

バケツリレーでは、保護者の方と児童が協力してバケツを運んで消火活動の訓練をしました。児童は空のバケツを運びましたが、両手で持つことが難しく、とてもよい経験になりました。



## 3年生 消火器訓練

火事を発見したら、すぐに「火事だ。」と大きな声で周りの人に伝えるところから訓練は始まりました。消火器の消火剤は10秒ほどでなくなるそうなので、すぐに的に当てられるよう頑張りました。



## 4年生 給水所、簡易トイレ、ポンプ放水

震災でライフラインが断たれたときに、必要な水を供給する設備やトイレの工夫を知ることができました。ポンプ放水では自分たちの地域を守るという防災意識で真剣に取り組むことができました。



### 5年生 AED・救急救護・災害電話訓練

心臓マッサージの手順やAEDの使い方、けがの応急処置法、災害電話のかけ方を学びました。実際に起きた時のことと想定しながら訓練を行うことができました。話を真剣に聞いて、友達やおうちの方と一緒に意欲的に取り組みました。



### 6年生 防災食配給

地域の方からアルファ化米の炊き方の説明を受けた後、出来上がったご飯のパック詰め作業を行いました。班ごとに分かれて、手際良くパックに詰めることができました。人出が足らないところを見付け、進んで手伝う姿は、最高学年としての自覚が見られました。



### 震災救援所震災訓練を終えて

副校长 斎藤 境栄

和田・梅里・堀ノ内の各町会、民生委員、杉並消防署高円寺出張所、消防団、日本公衆電話会、杉並区役所、様々な方々のご協力をいただき、様々な訓練など、貴重な体験をさせていただきました。事前に行われた震災救援所運営連絡会では、児童や保護者の方の体験を最優先に考えてくださいり、訓練の内容を企画・準備してくださいました。ありがとうございました。およそ1000人が参加されました。

### 子供たちの感想

・バケツリレーは、バケツが次から次へと来るから、思ったより大変でした。

1年生児童

・杉十の校庭の下にこんなにたくさんの飲み水があるなんて、知らなかつたです。

4年生児童

・防災食のパック詰めが、人数分ぴったりになりました。上手にできてよかったです。

6年生児童

### 保護者の皆様からの感想

・阪神淡路大震災の映像が大変心に残ったようで、帰宅してからも繰り返し「何が起きたか。」を聞かれたので、図らずも大地震のときどうすべきか、家族で話ができました。

1年生保護者

・消防器を使う体験は、日頃できることなので、いい経験になりました。震災について考えたとき、訓練しておくことはとても大切だと改めて思いました。

3年生保護者